

まちづくりナビ



市が目指す
都市構造の
イメージだよ

笠間特別観光大使
笠間のいな吉®

現在、市が抱えるまちづくりの課題解決や、魅力あるまちづくりを推進するための取り組みとして、「立地適正化計画」と「景観計画」の策定を進めています。

今回は、「立地適正化計画」で定める内容についてご説明します。

基本理念

立地適正化計画は、上位計画である笠間市第2次総合計画に沿って、集約と連携のまちづくりを進めます。

まちづくりの
キーワード



あつめる

つなぐ

魅力を
高める

- 市街地や拠点に、人や産業を集積
- 市街地と各地域のネットワークを形成
- 市街地と拠点の連携

まちづくりの目標

立地適正化計画によるまちづくりの目標として「都市機能を集約し利便性を高めた市街地拠点と、郊外部のゆとりある既存集落や魅力あふれる歴史・文化資源をつなぎ共存する、持続可能な文化交流都市笠間」の実現を目指します。

笠間市が目指す都市構造

立地適正化計画では、市全体の都市構造のうち、市街地部の人口密度維持が大きなポイントとなります。

【生活拠点の配置】= 居住誘導区域

- 主要な鉄道駅を有する友部、笠間、岩間の3つの既存人口集積エリアに居住機能の集積を促進し、市民の快適な日常生活を支える生活機能の立地・集積を図るための「生活拠点」を配置します。特に友部駅周辺は都市機能を積極的に誘導する「中心拠点」とします。

【都市拠点の配置】= 都市機能誘導区域

- 上記の生活拠点の中に、鉄道や高速道路などの恵まれた交通利便性、首都圏及び周辺都市に近い位置関係を生かし、都市機能の立地・集積を図るための「都市拠点」を配置します。

【地域拠点の配置】

- 生活拠点以外の地域において、鉄道駅の立地や生活機能が集積し、周辺地域の拠点的な役割を有するエリアに日常生活を支える生活機能を維持する「地域拠点」を配置します。

【その他の拠点とネットワーク】

- 前述の3つの拠点以外にも特徴的な資源を有する拠点を配置し、市街地と各種拠点を連携させます。また、周辺都市との連携により、共生関係を構築します。

居住誘導区域の基本的な考え方

居住誘導区域の設定については、『立地適正化計画の作成の手引き』（国土交通省）における考え方をもとに、笠間市の現状に当てはめて具体的に検討していきます。

- 鉄道や路線バスの公共交通が充実していること
- 将来も人口集積の可能性が高いこと
- 土砂災害等の災害に対して安全なこと
- 日常生活利便施設が歩ける範囲に集まっていること

次回は、景観計画の基本的な方針について、お知らせします。

【問い合わせ】都市計画課（内線 586）

